



兵庫支部NEWS H24年 6月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

田村允雄会長(42商)続投で2期目に 平成24年度第1回評議会開催



北九州市立大学同窓会は、平成24年度第1回評議会を5月19日(土)午後3時から、ホテルニュータガワで開催し、4月15日(日)の会長選考委員会で選任された田村允雄会長を次期会長に決定した。田村会長は平成22(田村允雄会長)年5月に山下建治前会長(33商)の後を継いで就任し、今度は2期目に入ることになる。

評議会に出席した安徳信義兵庫支部長兼評議員のレポートを下記します。

平成24年度第1回評議会に出席して

兵庫支部長兼評議員 安徳信義(44商)

且過橋市場の南寄りにある“大学堂”に腰を下ろし海鮮丼を食した。これは北九大の人間関係学科の竹川ゼミが、野外研究の一環としてフィールドワークに取り組み、当市場とコラボして活性化を目標に、運営は後輩たちがやっているものでTVでも時々放映されている。



さて、会場のホテルニュータガワに入り会場で先ず目に入ったのは“ウォークリレー”に関する展示物であった。

襷のほか数々のスナップ写真(展示写真を見る出席者達)をはじめ、兵庫支部NEWSの

3、4月号と関東支部の三水会ニュースの2紙で、この模様を伝えた記事が紹介されていた。

評議会は、23年度事業報告、決算及び監査報告がなされ、これに対し奨学金・報奨(会場で展示の兵庫支部NEWS)金約¥12,000,000の用途が中国人留学生に偏っていないかとの質問があったが報告は了承された。

また24年度運営・活動方針案及び部門別事業計画案、予算案も了承された。

平成24年度(第26回)兵庫支部総会 7月7日(土)11時~14時於パレス神戸

会費:

男性:7,000円

女性:5,000円

H23年24年卒は

無料招待

会場へのアクセス

JR・阪神元町

駅西口から徒歩

5分

地下鉄県庁前駅

から徒歩3分



パレス神戸 神戸市中央区下山手通5-1-16

Tel. 078-371-7800 Fax. 078-371-7804

連絡先:兵庫支部事務局 山田紘昭幹事長(44商)

Tel/Fax 0797-81-0843 携帯090-8655-3187

E-mail: gokusho27@jttk.zaq.ne.jp

運営・活動方針では次の6項目が掲げられた。

- 1) 策定から4年が経過した「長期構想」を評価しつつ新たに今日的な課題を盛り込む。
- 2) 年代を超え会員各自が「楽しく」、「役に立つ」「未来志向」の同窓会運営に努める。
- 3) 「同窓の絆」を太くする為多様な交流・親睦活動を一層推し進める。
- 4) 創意と工夫を凝らした活動で同窓会組織の活性化を図る。
- 5) 大学が発展、飛躍する為の支援に勤める。本部及び支部活動に学生会員の積極的な参加を呼び掛け、また若い会員の阻止化率(同窓会加入率)や同窓会事業への参加率を上げる為の方策を講じる。
- 6) 同窓会組織の運営の根幹である財政基盤の確立とともに、健全かつ効率的な財政運営に努める。

次に会長選考委員会委員長の報告があり、小倉支部推薦の中川氏を12:1で抑え、田村現会長の再任が報告され、2期目に入った田村会長の「混迷する不透明なこの時代を共に生きる53,000余りの同窓会会員と『価値観を超えた潤いのある絆』を構築したい。更に一步改革に向けて全会員の前向きで建設的な意見を持っている。」との挨拶があった。

続いて支部活動意見交換会がブロックに分かれ、各支部が抱える諸問題について熱心な討議がなされた。私は現在の支部名簿の改善点や大学のHPでの同窓会の扱いが、過少ではないかなどの問題提起をした。

他支部からは同窓会費の完納依頼に際して支部からこまめに心を込めたお願いをする等、兵庫支部に役立つ意見も数多くあり、今後の支部運営に生かしていきたい。

なお、今年の総会は下記の通り開催予定です。

第62回同窓会総会・懇親会

平成24年10月28日(日)11:00~

於 ホテルニュータガワ、小倉北区古船場町

The Alumni Association Hyogo Branch
of The University of Kitakyushu



Alumnus are most welcome to



SHANTI

Shanti means Peace

INDIAN RESTAURANT SHANTI

JR-ASHIYA 5FL 0797-35-4807

Please access www.ethnic.co.jp

兵庫支部総会出席予定者 6月12日現在

平成24年度(第26回)兵庫支部総会は7月7日開催予定で、5月下旬に開催案内が兵庫県下に在住の同窓生748名に発送された。6月12日現在ハガキや口頭で連絡のあった出席予定者は下記の通り24人となっている。参加申込締切日は6月30日(土)となっているので、まだハガキを手許に置いている人は早々に御投函願います。

出席予定者

大村実良(33商) 鷹野哲雄(33商) 伊藤 互(35商)
藤田博保(35商) 山本信司(37米英) 名越英昭(37米英)
平間正昭(37商) 二宮慶治郎(38米英) 平 雅文(38商)
赤松初夫(40米英) 西村洋子(41米英) 久芳健二(44中国)
福原照世(44中国) 安徳信義(44商) 松山 仁(44商)
山田紘昭(44商) 隅 信(45国文) 大西 敏(46国文)
森 護(47米英) 高橋義則(48経営) 真島秀幸(48経営)
町田実徳(53米英) 太田裕之(H1院経営学研)
木下佳枝(H14法律)

兵庫支部運営協力金協賛者 6月12日現在

平成22年度から、兵庫支部運営協力金の御協賛を依頼し、会員の皆様のご理解とご支援に対し支部役員一同深謝致しております。

平成22年度は、73名、74,000円
平成23年度は、49名、84,500円
の御協賛をいただきました。

今年もまたお願いし、現在37名55,000円の御協賛をいただいております。御協賛いただいた方々の御芳名を下記いたします。

支部運営協力金協賛者 (順不同・敬称略)

赤松初夫(40米英) 中西秀直(50経営) 江藤幸嗣(50国文)
江藤洋子(50米英) 村上勝幸(37商) 大村俊美(42米英)
安徳信義(44商) 秋山 敏(H5経営) 奥本 進(39商)
川野芳美(24米英) 井上信之(25米英) 横崎栄子(50国文)
杉山剛太(34商) 上田 進(48経営) 湯ノ谷宏之(39商)
森 護(47米英) 澤田英憲(44経営) 大神直也(56法律)
太田裕之(H1院経営) 平山元紹(47経営) 大賀房江(61英文)
岩見栄治(62法律) 後藤公一(38商) 新海正尚(36商)
大野光男(33商) 小村弘一(45経営) 山中道子(24米英)
町田実徳(53米英) 瀬川孝博(54経営) 浅野康平(37中国)
岸 容子(46国文) 大神正晴(48経営) 野田敏郎(37商)
名越英昭(37米英) 中村明人(41商) 河野旺生(36商)
河内山俊男(32米英)

兵庫支部月例会「三金会」5月例会

作家桜田靖氏(本名小島吉晴、40米英)を迎えて

5月18日(金)開催の「三金会」は、取材の為京都を訪れている「幻の川」(北九州市主催自分史文学賞入賞作品)の著者である桜田靖氏(本名小島吉晴、40米英)が来訪され、久々に出席の川村進氏(44米英)等11人が出席し賑やかなひとときを過ごした。

桜田氏は「幻の川」を本紙81号(平成20年10月号)で紹介した御縁で、兵庫支部会員の皆様には是非お礼がしたいと、自著「月の浜辺」(平成18年発刊)を携えてお出でになり、名刺代わりにと出席者に配布された。



永翁、松山、久芳、平間、名越、川村、安徳、二宮、大村、桜田(小島) 山本

この日は、三金会会場の本館牡丹園の経営者趙国良・明亮夫妻の長女佳慧さんが初めて三金会メンバーにお披露目された。



2月生まれで100日を過ぎて、首も座り、ますます可愛くなり、そのうち三金メンバーに(長女佳慧ちゃんと夫妻)愛嬌をふりまく事になることだろう。

「囲碁の会」「将棋クラブ」

2月から始まった第19次リーグ戦も終盤に近付いて、6月例会で終了する見込み。出席者は大岡8段、平間3段、山本2段、名越2級、安徳4級。

「将棋クラブ」は相変わらず永翁、久芳の二人だけである。参加者を募っています。お待ちしております。

関西支部総会は6月17日(日)

近藤倫明学長の講演を予定

関西支部総会・懇親会は6月17日(日)11時から新大阪ワシントンホテルプラザ2階で開催される。

兵庫支部から安徳支部長、松山副支部長、山田幹事長及び編集子が出席を予定している。詳細は下記。

記

平成24年度関西支部総会・懇親会

日時：平成24年6月17日(日)

11:00~11:30 総会

11:30~12:20 講演 近藤倫明学長

「北九州市立大学の地域貢献」

12:30~15:00 懇親会・リコーダー演奏

会場：新大阪ワシントンホテルプラザ 2階

Tel.06-6303-8111 新大阪駅から徒歩3分

会費：男性8,000円、女性7,000円 夫婦同伴14,000円

23年、24年卒業生は無料

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時~

会費：3,500円(男性)

2,000円(女性)

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時~

参加費：無料、ドリンク/500円



「同窓の絆たすき」支部リレー・ウォーク

福岡県内13支部を結び北方キャンパスにゴール

3月11日(日)福岡市役所前を出発した「同窓の絆たすき」は福岡支部から県内全ての支部がつないで、最後は小倉支部に託され、5月6日(日)11時50分母校北方キャンパスに無事ゴールインした。

同窓会本部のホームページに詳細が写真入りで報告されているが抜粋して読者の皆様にお届けします。

4月号で福岡支部→福岡県南支部→嘉飯山支部→田川支部→直鞍支部
豊前・築上支部→行橋京都支部→門司支部
についてお知らせしました。嘉飯山支部で二つの支部に引き継がれて、それぞれが最終の小倉支部へのバトンタッチを目指しました。

4月8日(日)直鞍支部

快晴に恵まれて、予想を上回る20名余りの参加者が直方駅前集合し、中間市役所迄の約13kmを事故も無く参加者全員がゴールし、中間・遠賀支部へリレー。



(直方駅前を出発記念写真)

4月15日(日)中間・遠賀支部

好天に恵まれ、出発式を中間市役所前で行い、松下中間市長の激励挨拶をいただいた。総勢47名の参加者が約8.5kmの道程を予定通り2時間余りのウォークでゴールの八幡西区折尾出張所に到着し、八幡支部



(中間市役所前を出発記念)

4月15日(日)門司支部

晴天に恵まれ朝10時門司駅南口に集合。参加者は総勢38名、下は6歳から上は78歳の大先輩までのリレー・ウォーク。北九州市庁舎までの約7kmを、海沿いの199号線を歩き、一度の休憩で小倉支部長の待つ小倉駅まで。そして北九州市庁舎に12時に到着し、たすきを小倉支部に手渡す。このリレーで初めて同窓会活動に参加した人が10名いたとのこと。



(門司駅前を出発記念撮影)

4月22日(日)八幡支部

雨の為出発を遅らせて実施。総勢28名が八幡西区折尾出張所に集合し、若松班と小倉班に分かれて出発。



(折尾出張所前を出発記念写真)

4月22日(日)八幡支部(つづき)

先ず若松班が先発し、若松区役所島郷出張所へ。小倉班は、黒崎駅及び夜話中央町を經由して、小倉到津の森公園までの約13kmを歩く。それぞれに若松支部と小倉支部に引き継いだ。

4月29日(日)若松支部・戸畑支部(合同)

先ず、若松支部が若松駅を出発して、若戸渡船で洞海湾を渡り戸畑支部と合流し、若戸大橋の下で出発式を行い、小倉北区役所までの約8



(若戸大橋の下で若松・戸畑両支部合同出発式)



キロを歩いた。参加者には現役学生のほか、1期生の大先輩も元気な足取りで完歩。ゴール後車座になって弁当の最中、たまたま通りかかった北橋北九州市長から声が掛かり一緒に記念写真のハプニングも。

5月6日(日)小倉支部

4月15日門司支部から、4月22日八幡支部から、4月29日若松・戸畑支部から受け継いだ「同窓の絆たすき」を最終ゴールの母校北方キャンパスに無事届ける大役に燃えた。小倉城を10時に出発、紫川沿いの道から富士見町、城野駅前を經由し、大



(隊列を整え正門へ)

学正門へ約8km。総勢63名が隊列を整え直し、幟や小旗を高く掲げてゴールイン。時に11時50分。体育館前で「最終ゴール式」が行われ、今回のウォークの成功を称えた。リレーされた義援金募金箱開蓋式があり、寄金は合計48,865円だった。



(北方キャンパスにゴールイン後体育館前で記念撮影)

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円
お申し込みは6回分3,000円で御願います

「歩こう会」5月例会

長谷寺を訪ねて

例会日の第2日曜日に、兵庫支部役員会が開催されることになり、急遽第3日曜日の5月20日に変更されて、「歩こう会」5月例会が開催された。

ぼたん寺として知られている長谷寺には近鉄長谷駅が最寄り駅で徒歩15分だが、二宮会長は出来るだけ多くの参加者を、と最寄駅から歩く「ポチポチ」組と、近鉄桜井駅から約4キロ（実際は7キロ強だったが）を歩く「健脚」組と2コースを案内した。結果はポチポチ組に応募は1人のみだったので、健脚組に変更し、参加者8名全員が桜井駅から歩く事になった。

桜井駅に午前9時集合したのは会長の二宮慶治郎（38米英）伊藤互（35商）平間正昭（37商）名越英昭（37米英）平雅文（38商）西村洋子（41米英）楢崎栄子（50国文）謝美華（ゲスト）の8名。



(参加者紹介)

二宮会長から本日の参加者の紹介があり、初参加は楢崎さん、2回目の西村さん、兵庫支部復帰後2回目の平さんと比較的新しい顔ぶれの顔合わせとなった。

駅北側の道を東へ長谷寺を目指して一直線に歩こうと出発したが、初瀬街道は駅より南側を走っていると言う事を出発して間もなく右折して南へと向かい、人だけが通る様な小さな踏切を渡り更に南下しようとするが、道は狭く右往左往するうちに桜井駅南の大きい道路へ戻ってしまった。

桜井駅構内の観光案内所でゲットした案内図を参照しながら駅前道を少し南下し、アーケードのある商店街を歩いていると、丁字路で右折は多武峯街道、直進は伊勢・忍坂街道の標識があり、我々は



(商店街-伊勢街道を歩く)

伊勢街道を歩いている事が分った。

直進し商店街を通り抜け、小川沿いの道を歩いていると「磯城邑傳稱地道」と記した石柱(写真左)が目についた。ネットで調べると日本書紀に記述がある磯城邑(シムツ)のこの由。やがて国道165号線(初瀬街道)に合流し近鉄大阪線のガードを潜り、再び脇道(伊勢本街道)に入る。道は旧街道らしく狭くて車が通るたびに道路脇に避難してやり過ごす。

左折すると白山神社(万葉集発祥の地)という標識を横目に通り過ぎて直進し、再び国道165号線と合流する辺りで長谷寺まで3.2kmの表示を見つけた。

またこの辺りは明治から大正にかけて桜井と初瀬を結ぶ長谷軽便鉄道が走っていたと説明板が掲示されていた。国道に出た所で給水のため小休憩して(写真右)再び国道を東へと進むと、お堂があり「出雲の流れ地蔵」だと説明されていた。

1811年の大洪水で流されてきた地蔵さんだという。



やがて十二柱神社にやってきた。伊邪諾(イナ)・伊邪冊(イナ)の神など神世七代の神及び天照大神などの地神五代の神が祭神である。ここは「泊瀬烈城宮伝承地」で、日本書紀による武烈天皇の皇居があったのはこの辺りと言われているとのこと。

(十二柱神社本殿) 寺参道入口に到着だ。赤い歓迎門が出迎えてくれる。お土産物店を品定めしながら進むとコンビニがあり、そこで昼食弁当の調達を考えたがもっと奥でも買えるだろうとそのまま進んだのが間違いだった。結局、弁当を持たない3人は引き返すことになってしまった。



(参道入口の赤い歓迎門)

長谷寺入口の仁王門手前の茶店で待機していた人達と合流し、いざ長谷寺へと入山料500円を払い、仁王門を潜ると目の前は399段あるという「登廊」である。



(仁王門を潜ると登廊が)

段差の低い階段の緩やかな勾配で399段という数字に恐怖を感じていたがこの分だと楽勝だと安堵する。「登廊」の右手には牡丹園が続いており、既に盛りは過ぎ

ていたが、それでも綺麗に咲いているものもあり楽しませてくれた。花の前で記念写真を撮り「登廊」を登り終えると長谷寺本堂である。

御本尊の前で手を合わせ、五重塔へと向かう。下見をしていた二宮会長が昼食場所と決めていたのだろう。やや遅めの昼食を取り五重塔の前で記念撮影をして下山開始。



(ポタンの花の前で)



(五重塔の前で)

元の下りに引き返して、今度は参道を戻りながらいろいろと買い物もして駅に向かって歩く。

駅は高台に位置しており幾つも階段を上ってやっと到着。(初瀬ダムとまほろぼ湖) 桜井駅からおよそ12~3キロは歩いたであろう。皆さん本当にお疲れさまでした。



(初瀬ダムとまほろぼ湖)